

授業概要

領域「言葉」の児童文化財である紙芝居・絵本・ストーリーテリング・劇遊び、及びわらべうた・言葉遊び等について指導します。領域「言葉」の児童文化財の様々な作品に対して、幼児が親しみ興味を持てるような指導力を養成するための指導を行います。また、作品の内容と自分の経験とを結びつけたり想像を巡らせたりすることで、幼児が次第に豊かなイメージをもち、言葉に対する感覚を養うために、作品の教育・保育上の意義、実演する際の事前指導・準備・工夫・事後指導・発展についても、指導を行います。研究指導を行なったうえで、主に研究テーマを分担した研究発表形式で行い、全員が発表を行い、それについて指導を行います。施設見学は、土日に授業を振り替えて行います。

履修の条件としては、年間計画を説明するため第1回目の授業に必ず参加すること、研究発表を行うこと、土日の施設見学に参加することが必須となります。

授業計画

第1回	ガイダンスー領域「言葉」の児童文化財（絵本や物語など）について
第2回	領域「言葉」の児童文化財ー物語系児童文化財
第3回	絵本と表現力・想像力・文字を書く力の養成ー研究発表と指導
第4回	紙芝居と表現力・想像力・文字を書く力の養成ー研究発表と指導
第5回	ストーリーテリングと表現力・想像力・文字を書く力の養成ー研究発表と指導
第6回	劇遊びと表現力・想像力・文字を書く力の養成ー研究発表と指導
第7回	領域「言葉」の児童文化財ー非物語系児童文化財
第8回	わらべうた・言葉遊びと表現力・想像力・文字を書く力の養成ー研究発表と指導
第9回	領域「言葉」の児童文化財の指導案
第10回	物語系児童文化財（絵本・紙芝居・ストーリーテリング）を活用した指導案ー研究発表と指導
第11回	物語系の児童文化財（劇遊び）を活用した指導案ー研究発表と指導
第12回	非物語系の児童文化財を活用した指導案ー研究発表と指導
第13回	学外施設見学①（国際子ども図書館等）ー絵本・童話・紙芝居等
第14回	学外施設見学②（東京子ども図書館等）ー絵本・ストーリーテリング等
第15回	学外施設見学③（ちひろ美術館等）ー絵本・童話・紙芝居等
第16回	総まとめ（期末レポート解説）

到達目標

領域「言葉」の児童文化財についての指導の後、研究テーマを設定し研究発表を行うことで、理解を深めます。また、研究発表後の指導や、他の学生の研究発表からも領域「言葉」の児童文化財と言葉の発達の関係について、広く学びます。施設見学においても、領域「言葉」の児童文化財と言葉の発達の関係についての資料や実演等から学びます。

履修上の注意

領域「言葉」の児童文化財と言葉の発達について興味をもち、作品についての知識、及び作品の教育・保育上の意義、実演する際の事前指導・準備・工夫・事後指導・発展などについて、全員が分担して調査や考察を行い、研究発表を行います。施設見学も行いますので、児童文化財への興味・関心を高めてください。

施設見学は土日に授業を振り替えて行います。遅刻は20分以内までとし、遅刻3回で欠席1回とします。

予習・復習

研究発表の題材に選んだテーマ及び内容について詳しく調べ、考え、他者の意見等も参考にまとめてレジュメを作成します。施設見学を行った際は、レポートを作成します。

評価方法

研究発表のレジュメと発表内容・他者の研究発表内容についての発言・施設見学レポート・コメント・期末試験などを総合的に評価します。研究発表は、実演をふくめて行います。

期末試験50%、課題30%、授業参加度20%

テキスト

「幼稚園教育要領」「小学校学習指導要領」